

## II 手話奉仕員養成等

質問及び回答選択肢等	全体 集計	障害保健福祉圏				
		横須賀 ・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西
<b>問 II - 1</b> 令和3年度に、手話奉仕員養成を実施しましたか。						
1 実施した	21	5	3	4	4	5
2 実施していない	2	0	0	0	1	1
<b>問 II - 2</b> どんなカリキュラムで実施しましたか。						
1 厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム全課程	14	2	1	3	3	5
2 厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムの一部を実施	6	3	2	0	1	0
3 独自のカリキュラム	0	0	0	0	0	0
4 その他	1	0	0	0	0	1
<b>問 II - 3</b> 実施形態について伺います。						
1 市町村独自に実施	5	1	0	0	0	4
2 聴覚障がい者協会に委託	12	3	2	4	3	0
3 社会福祉団体に委託	1	0	0	0	1	0
4 その他	3	1	1	0	0	1
<b>問 II - 4</b> 講習の名称、回数、時間数等を記載してください。 (入門、基礎で分かれて実施した場合は、それぞれでご記入ください)						
1 名 称	25	6	3	6	5	5
2 回 数	25	6	3	6	5	5
3 時間数	25	6	3	6	5	5
4 定 員	25	6	3	6	5	5
5 受講人数	25	6	3	6	5	5
6 修了人数	25	6	3	6	5	5
<b>問 II - 5</b> 実技講師はどなたが担いましたか。(複数回答)						
1 聴覚障がい者協会会員と手話通訳者のペア	20	5	3	4	4	4
2 聴覚障がい者協会会員のみ	0	0	0	0	0	0
3 手話通訳者のみ	0	0	0	0	0	0
5 その他	1	0	0	0	0	1
<b>問 II - 6</b> 講義講師はどなたが担いましたか。(複数回答)						
1 聴覚障がい者協会会員と手話通訳者のペア	14	3	2	3	3	3
2 聴覚障がい者協会会員のみ	2	1	0	0	1	0
3 手話通訳者のみ	3	1	0	0	2	0
4 外部講師	8	1	1	2	1	3
5 その他	3	1	0	0	0	2
<b>問 II - 7</b> 手話奉仕員養成目標「手話を習得し、地域の聴覚障害者と手話で会話ができ、習得した手話等を活用して、地域の聴覚障害者団体の行事への参加や、手話サークル活動への参加等、手話活動を行う」を達成できていますか。						
1 達成できている	17	4	2	4	3	4
2 達成できていない	2	0	0	0	1	1
3 その他	2	1	1	0	0	0
<b>問 II - 8</b> 手話奉仕員養成目標が「達成できている」と回答した市町村に伺います。達成するために工夫したことはなんですか。(複数回答)						
1 聴覚障がい者団体の行事へ参加を促す	9	3	1	2	1	2
2 手話サークル活動への参加を促す	16	3	2	4	3	4
3 その他	22	5	3	3	5	6
<b>問 II - 9</b> 手話奉仕員養成を実施するにあたっての課題は何だと思いますか。(複数回答)						
1 講師不足	12	4	1	2	2	3
2 聴覚障がい者との交流促進	9	2	1	1	2	3
3 受講者不足	3	0	0	1	1	1
4 受講者のレベルに合わせた講習実施	9	2	1	1	2	3
5 運営が大変	6	2	0	2	0	2
6 その他	4	2	0	0	1	1
<b>問 II - 10</b> 令和4年度の手話奉仕員養成で改善、変更があったものがあれば記載してください。 (回答欄)						
	10	2	2	3	2	1
<b>問 II - 11</b> 令和3年度に「実施していない」理由は何ですか。(複数回答)						
1 予算が確保できない	0	0	0	0	0	0
2 会場が確保できない	0	0	0	0	0	0
3 講師が確保できない	0	0	0	0	0	0
4 運営が大変だから	0	0	0	0	0	0
5 新型コロナウイルス感染拡大によりできない	1	0	0	0	1	0
6 その他	1	0	0	0	0	1
<b>問 II - 12</b> 令和4年度は実施しましたか。または、実施しますか。						

	1 実施する、または実施した	22	5	3	4	5	5
	2 実施しない	1	0	0	0	0	1
問 II -13	「実施する、または実施した」と回答した市町村に伺います。どんなカリキュラムで実施または実施予定ですか。						
	1 厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム全課程	14	3	2	3	3	3
	2 厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムの一部を実施	6	2	1	0	2	1
	3 独自のカリキュラム	1	1	0	0	0	0
	4 その他	2	0	0	0	0	2
問 II -14	実施形態について伺います。						
	1 市町村独自に実施	6	1	0	0	1	4
	2 聴覚障がい者協会に委託	12	2	2	4	4	0
	3 手話サークルに委託	1	0	0	0	0	1
	4 社会福祉団体に委託	0	0	0	0	0	0
	5 その他	3	2	1	0	0	0
問 II -15	講習の名称、回数、時間数等を記載してください。						
	1 名称	27	6	4	6	6	5
	2 回数	27	6	4	6	6	5
	3 時間数	27	6	4	6	6	5
	4 定員	27	6	4	6	6	5
	5 受講人数（実施済の場合記載）	22	5	2	5	5	5
	6 修了人数（実施済の場合記載）	10	1	1	2	2	4
問 II -16	実技講師はどなたが担当しましたか。または、担当予定ですか。						
	1 聴覚障がい者協会会員と手話通訳者のペア	21	5	3	4	5	4
	2 聴覚障がい者協会会員のみ	1	0	0	1	0	0
	3 手話通訳者のみ	0	0	0	0	0	0
	4 その他	1	0	0	0	0	1
問 II -17	令和3年度、4年度とも手話奉仕員養成を「実施しない」市町村に伺います。今後、実施する予定はありますか。						
	1 実施する予定がある（令和 年度）	0	0	0	0	0	0
	2 実施する予定はない	0	0	0	0	0	0
	3 検討中	1	0	0	0	0	1
問 II -18	令和3年度に、手話奉仕員養成以外に、手話に関する講座等を実施しましたか。						
	1 実施した	13	5	2	2	3	1
	2 実施していない	9	0	0	2	2	5
	3 その他	1	0	1	0	0	0
問 II -19	手話奉仕員養成以外の手話に関する講座等の目的は何ですか。（複数回答）						
	1 手話の普及、拡大のための講座等	3	1	0	0	1	1
	2 手話通訳者養成につなげるための補習的講座等	14	5	3	2	3	1
	3 その他	1	0	0	0	1	0
問 II -20	「手話の普及、拡大のための講座等」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容か記載してください。						
	1 名称	3	2	0	0	1	0
	2 回数	3	2	0	0	1	0
	3 時間数	3	2	0	0	1	0
	4 定員	3	2	0	0	1	0
	5 講師（該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください）	0	0	0	0	0	0
	（1）聴覚障がい者	3	2	0	0	1	0
	（2）手話通訳者、手話通訳士	2	2	0	0	0	0
	（3）その他	0	0	0	0	0	0
	6 内容	2	2	0	0	0	0
問 II -21	「手話の普及、拡大のための講座等」で、令和3年度に改善、変更した項目があれば、記載してください。						
	（回答欄）	1	0	0	0	1	0
問 II -22	「手話の普及、拡大のための講座等」の課題は、何だと思えますか。具体的に記載してください。						
	（回答欄）	1	0	0	0	1	0
問 II -23	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容か記載してください。						
	1 名称		8	6	4	6	1
	2 回数	25	8	6	4	6	1
	3 時間数	25	8	6	4	6	1
	4 定員	25	8	6	4	6	1
	5 テキスト	25	8	6	4	6	1
	6 内容	25	8	6	4	6	1

	7 講師（該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください）	2	0	0	0	2	0
	(1) 聴覚障がい者	24	8	5	4	6	1
	(2) 手話通訳者、手話通訳士	23	8	5	4	6	0
	(3) その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-24	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」と回答した市町村に伺います。手話通訳者養成につなげるために聴覚障害者との会話や手話の表現、読み取りなどは十分に向上しましたか。						
	1 十分に向上した	3	1	2	0	0	0
	2 相当向上した	5	3	0	1	1	0
	3 ある程度向上した	3	0	0	1	1	1
	4 なかなか向上しない	2	0	1	0	1	0
	5 向上しない	0	0	0	0	0	0
	6 その他	1	1	0	0	0	0
問Ⅱ-25	「なかなか向上しない」、「向上しない」と回答した市町村に伺います。どのあたりの向上が難しいですか。（複数回答）						
	1 聴覚障がい者との会話	2	0	1	0	1	0
	2 手話の表現	2	0	1	0	1	0
	3 手話の読み取り	2	0	1	0	1	0
	4 その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-26	「向上が難しい」理由は何だと思えますか。						
	1 予算が足りないため、十分な講習時間を確保できない	1	0	1	0	0	0
	2 指導講師が足りない	1	0	0	0	1	0
	3 その他	2	1	0	0	1	0
問Ⅱ-27	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」で、令和4年度に工夫したところがあれば記載してください。						
	(回答欄)	8	3	2	1	2	0
問Ⅱ-28	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」の課題は何だと思えますか。具体的に記載してください。						
	(回答欄)	12	3	3	2	3	1
問Ⅱ-29	「その他」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容か記載してください。						
	1 名称						
	2 回数	3	2	0	0	1	0
	3 時間数	3	2	0	0	1	0
	4 定員	3	2	0	0	1	0
	5 内容	3	2	0	0	1	0
	6 講師（該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください）	0	0	0	0	0	0
	(1) 聴覚障がい者	2	2	0	0	0	0
	(2) 手話通訳者、手話通訳士	3	2	0	0	1	0
	(3) その他	1	0	0	1	0	0
問Ⅱ-30	「その他」と回答した市町村に伺います。令和4年度に改善、変更があった事項を記載してください。						
	(回答欄)	1	1	0	0	0	0
問Ⅱ-31	令和4年度は手話奉仕員養成以外に、手話に関する講座等を実施しましたか、または実施しますか。						
	1 実施した、または実施の予定	14	5	3	2	3	1
	2 実施しない	9	0	0	2	2	5
	3 検討中	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-32	「実施した、または実施の予定」の市町村に伺います。目的は何ですか。（複数回答）						
	1 手話の普及、拡大のための講座等	4	2	0	0	2	0
	2 手話通訳者養成につなげるための補習的講座等	14	5	3	2	3	1
	3 その他	1	0	0	0	1	0
問Ⅱ-33	「手話の普及、拡大のための講座等」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容か記載してください。						
	1 名称	4	2	0	0	2	0
	2 回数	4	2	0	0	2	0
	3 時間数	4	2	0	0	2	0
	4 定員	4	2	0	0	2	0
	5 講師（該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください）	0	0	0	0	0	0
	(1) 聴覚障がい者	4	2	0	0	2	0
	(2) 手話通訳者、手話通訳士	4	2	0	0	2	0
	(3) その他	22	5	3	4	5	5
	6 内容	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-34	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容か記載してください。						

	1 名称	23	8	6	3	5	1
	2 回数	23	8	6	3	5	1
	3 時間数	23	8	6	3	5	1
	4 定員	23	8	6	3	5	1
	5 テキスト	21	6	6	3	5	1
	6 内容	21	6	6	3	5	1
	7 講師（該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください。）	2	0	0	0	2	0
	（1）聴覚障がい者	23	8	6	3	5	1
	（2）手話通訳者、手話通訳士	23	8	6	3	5	1
	（3）その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-35	「その他」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容か記載してください。						
	1 名称	1	0	0	0	1	0
	2 回数	1	0	0	0	1	0
	3 時間数	1	0	0	0	1	0
	4 定員	1	0	0	0	1	0
	5 内容	1	0	0	0	1	0
	6 講師（該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください。）	0	0	0	0	0	0
	（1）聴覚障がい者	1	0	0	0	1	0
	（2）手話通訳者、手話通訳士	1	0	0	0	1	0
	（3）その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-36	手話奉仕員養成や手話に関する講座等を周知する方法はどのようにしていますか（複数回答）						
	1 市町村の広報紙	21	4	3	4	5	5
	2 市町村のホームページ	15	4	2	3	3	3
	3 市町村のSNS（Facebook、Twitter、公式Line等）	5	2	0	1	2	0
	4 メールまたは郵送による周知	3	0	0	1	2	0
	5 その他	4	0	1	0	0	3
問Ⅱ-37	手話奉仕員養成や手話に関する講座等の周知先はどこですか。（複数回答）						
	1 市町村職員	0	0	0	0	0	0
	2 民生委員・児童委員	0	0	0	0	0	0
	3 教育機関	0	0	0	0	0	0
	4 介護事業所・施設	0	0	0	0	0	0
	5 障害者事業所・施設	0	0	0	0	0	0
	6 その他	10	2	1	2	3	2
問Ⅱ-38	県の手話通訳者養成に要望することは何ですか。（複数回答）						
	1 養成コースの複数化	13	3	2	2	2	4
	2 養成コースの地域開催	12	1	0	4	2	5
	3 養成コースの充実	9	2	2	1	1	3
	4 その他	3	2	0	0	1	0
問Ⅱ-39	手話通訳者を増やしていくために、どんなことが必要だと思いますか。（複数回答）						
	市町村での取り組み						
	1 聴覚障害者との交流促進	16	4	1	3	2	6
	2 手話、聴覚障がい者理解の普及	22	5	3	4	4	6
	3 手話奉仕員養成の充実	15	2	3	3	3	4
	4 手話通訳者の身分保障	18	4	2	4	4	4
	5 その他	1	0	0	1	0	0
	県での取り組み						
	1 手話通訳者養成講習会の充実	16	3	3	3	4	3
	2 手話通訳者の身分保障	16	4	3	3	3	3
	3 手話、聴覚障がい者理解の普及	17	4	3	4	3	3
	4 市町村手話奉仕員養成と県手話通訳者養成をつなげる工夫	19	3	3	3	5	5
	5 財政的な支援	15	3	2	3	3	4
	6 その他	1	1	0	0	0	0
問Ⅱ-40	手話奉仕員養成、手話通訳者養成等について意見があれば、自由に記載してください。						
	（回答欄）	10	1	2	3	3	1
問Ⅱ-41	市町村職員を対象とした、聴覚障がい、聴覚障がい者理解のための研修等実施しましたか。（複数回答）						
	1 手話奉仕員養成講座	0					
	2 手話に関する講座	2	1	0	0	1	0
	3 聴覚障がい理解講座	3	1	1	0	1	0
	4 その他	8	1	2	1	2	2

	5 実施していない	11	3	0	3	1	4
問 II-42	市町村職員を対象とした、聴覚障がい、聴覚障がい者理解のための研修等について、令和4年度に改善、変更したことがあれば記載ください。						
	(回答欄)	9	2	1	2	3	1